とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和7年12月18日(木)
クラス名(年齢)	ことり組(1歳児)
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

冬の自然に触れて遊ぶ

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・落ち葉や枝などの自然物に興味を示して、拾い集めたり、ままごと遊びに取り入れるなどしている。
・先月公園に行き秋の自然に触れることが出来たので、今回は変化した冬の自然に触れることが出来たら良いと思った。

2、活動スケジュール

・近隣の公園に行き、枯れ葉や枝を見つけて触れたり、拾い集めたりする。
・落ち葉を手で小さくちぎり、感触を楽しむ

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

・近隣の公園に散歩に行く

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・落ち葉や枝を手に持ったり、拾い集めたりして楽しむ。
・落ち葉の上を歩いて感触を感じたり、音を聞いて楽しむ。
・大きな落ち葉を手で小さくちぎってみようとする。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・枯れ葉（トチノキの葉）を見つけて、「大きな葉っぱあったの」と保育者に知らせる。保育者が「大きいね」と言うと、嬉しそうに頷く。 ・「見て見て」と友達にも知らせて見せる。 ・見せてもらい、興味を持ち触れようとする。 ・お気に入りの枯れ葉や枝を拾って見たり、集めたりする。トチノキの葉の枝を持って「えい」と言いながら動かして、おまじないごっこをして楽しむ。 ・拾った枯れ葉を両手でちぎって小さくする。「ビリビリ」などと言いながら繰り返しちぎって楽しむ。 ・落ち葉が落ちている場所を友達と一緒に繰り返し歩いて楽しむ。「ダンダンダン」などと言い、足で踏んだ感触を楽しみながら歩く。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・先月も公園に行って遊んだが12月中旬になり公園の自然も変わり、落ち葉も枯れ、たくさん落ちていて冬の自然に触れることが出来たので良かった。トチノキの枯れ葉は枝があって持ちやすく葉が大きい為、ちぎったり、顔を隠していないいないばぁをしたりと、様々な遊び方を楽しむことが出来た。友達に拾った枯れ葉を見せたり、落ち葉の上を一緒に歩いたりと、楽しむ姿が沢山見られて成長を感じた。枯れ葉をちぎる際「ビリビリ」と言ったり、落ち葉の上を歩きながら「ダンダンダン」と言うなど、体験の中から感じる音を表現している様子に驚いた。子ども達の発見を一緒に共感しながら、これからも様々な自然に触れていきたい。